



# 神奈川県愛川町立 中津小学校

## テストの復習に活用！

### ～テスト返却の隙間時間にもつまずきの復習～

中津小学校では、テストの復習にeライブラリのドリルといろいろなカード帳を活用しています。今回は、5年生の授業の様子とeライブラリを有効活用するための先生の工夫をご紹介します。

#### ■ テストのつまずきをドリルで復習



▲ とても楽しそうな表情でドリル学習

#### 社会 1学期の学習範囲

この日は、テストでつまずいたところをeライブラリのドリルで復習しました。児童は、テスト返却の時間に学習する教材を自分で選び、ドリルに取り組みます。

「子どもによってつまずくところは違います。eライブラリは、苦手なところに向き合い、自分のペースで学習できるのでとても良いです。」と河野先生。児童は、一人でじっくり考えたり、友達同士で教え合ったりして、とても楽しそうに学習していました。

#### ■ フラッシュ型教材で反復学習、学習意欲がさらに向上



▲ 出題された問題を友達同士で確認

#### 社会 各国の国旗

#### ねらい 世界の大陸や島の国々の国旗を知る

授業の終盤は、いろいろカード帳（フラッシュ型教材）を使いました。

先生から国旗の問題が出題されると、「はい！わかります！」と一斉に手が挙がり、元気いっぱい国の名前を答えていきます。難しい問題も友達同士で確かめ合いながら答えていました。

#### インタビュー eライブラリを使った感想



5年担任  
河野 遥樹 先生

eライブラリは、児童が自分のつまずきや苦手な分野に主体的に取り組み、克服することをねらいに活用しています。これまで使っていたプリントや宿題だけでは、つまずいた部分をそのままにしてしまい、やり直しをさせることが難しいといった課題がありました。

**リトライができるeライブラリで学習をするようになってから、子どもたちは100点をとる達成感を味わうため、何度もやり直しをするようになりました。また、得点によって成績のグラフが色分けされるので、やり直しが必要なところが焦点化され、児童も学習しやすいようです。**

## ■ テスト返却の隙間時間を有効活用



▲ テスト返却をパソコン教室で実施している様子

テスト返却の待ち時間を有効に活用するために、テストの返却はパソコン教室で行います。テストが手元に返ってきた児童から順にドリルを始めます。

「子どもたちが、つまずいたところを学び直す時間をしっかりと確保したい」という先生の思いが隙間時間を有効活用する工夫に繋がっています。

児童は、ドリルとヒント、解説教材を使いながら、自分のペースで学習を進めていました。

### eライブラリ活用のねらい

- 児童自身が自分のつまずきに主体的に取り組み、基礎基本の定着を図る。

### 先生の工夫

- テスト返却をパソコン教室で行い、待ち時間にドリルに取り組みさせる。
- 児童によってつまずく部分が異なるため、ドリルで学習する単元は指定せず、児童に選ばせる。そして、先生は机間指導に集中する。

### 児童の様子



▲ 友達同士でテストでつまずいた問題を教え合う



▲ 1学期の学習範囲を自分のペースでしっかり学習している



▲ 100点を目指し、楽しみながら学習している

### インタビュー

### eライブラリを活用した今後の展望

本校は、全校児童507人のうち、外国に繋がる児童が100人以上もいる、まさに多文化共生の学校です。そのため、授業も「全ての児童がわかった・できた」と言えるようなユニバーサルデザインを意識した授業づくりを心がけています。

特に「可視化」「ビジュアル化」ということで、タブレットやパソコン、普通教室にある大型モニターなどのICT機器を使った授業が盛んです。

eライブラリの利用もその一貫として、基礎・基本の定着に積極的に活用しており、多くの教員が実践できるように校内研修も実施しています。

今後は、週末や夏休み中などの家庭学習にも有効活用できるように、家庭と連携しながら家庭学習サービスを始めたいと考えています。



校長  
芦澤 治 先生